

資料番号	3
------	---

令和7年6月27日
課名 商工労働局経営革新課
担当者 担当課長 和田
内線 3460

広島県経済の動向

令和7年6月27日
商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（１）国内経済の動向	
	（２）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（１）鉄鋼	
	（２）自動車	
	（３）造船	
	（４）一般機械	
	（５）電気機械	
3	県内小売業等の動向	5
	（１）百貨店・スーパー	
	（２）宿泊・飲食サービス	
	（３）観光	
4	中小企業の動向	7
	（１）概況	
	（２）景況感・景況感の変化	
	（３）前月から変化のあった主な業種	
5	企業倒産状況	9
	（１）概況	
	（２）業種別	
	（３）原因別	
	（４）今後の見通し	
6	最近の雇用失業情勢	10
	（１）県内の有効求人・求職の動向	
	（２）県内の新規求人・求職の動向	
	（３）県内の人員整理の状況	
	（４）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	令和7年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる	
輸 出	このところ持ち直しの動きがみられる		
生 産	横ばいとなっている		
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる	消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	おおむね横ばいとなっている		
消費者物価	上昇している		
企業収益	改善している		

イ 先行き

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和7年5月22日公表）】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	令和7年		
	3月	4月	5月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	弱めの動きとなっている		
生 産	横ばい圏内の動きとなっている		
設備投資	増加している		
雇用・所得	緩やかに改善している		
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	弱めの動きとなっている		
消費者物価 (除く生鮮食 品、広島市)	前年を上回っている		

イ 県内の経済の先行き

先行きは、各国の通商政策等の影響を受けた海外経済の動向や企業の賃金・価格設定行動などが、県内の経済金融情勢および回復のペースに与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和7年6月5日公表)】

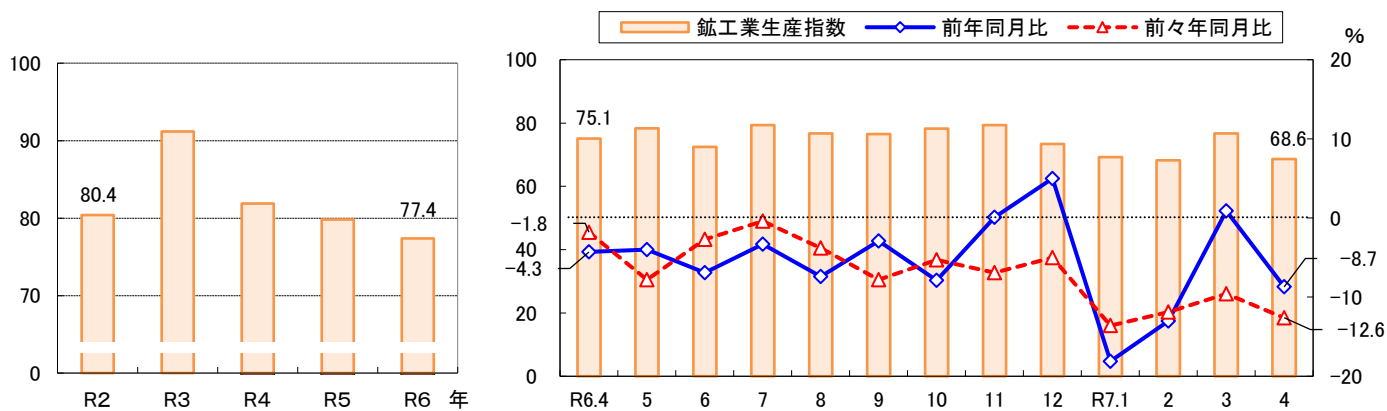
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和7年4月）

4月の鉱工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年＝100）は68.6で、前年同月比で8.7%減少、前々年同月比で12.6%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

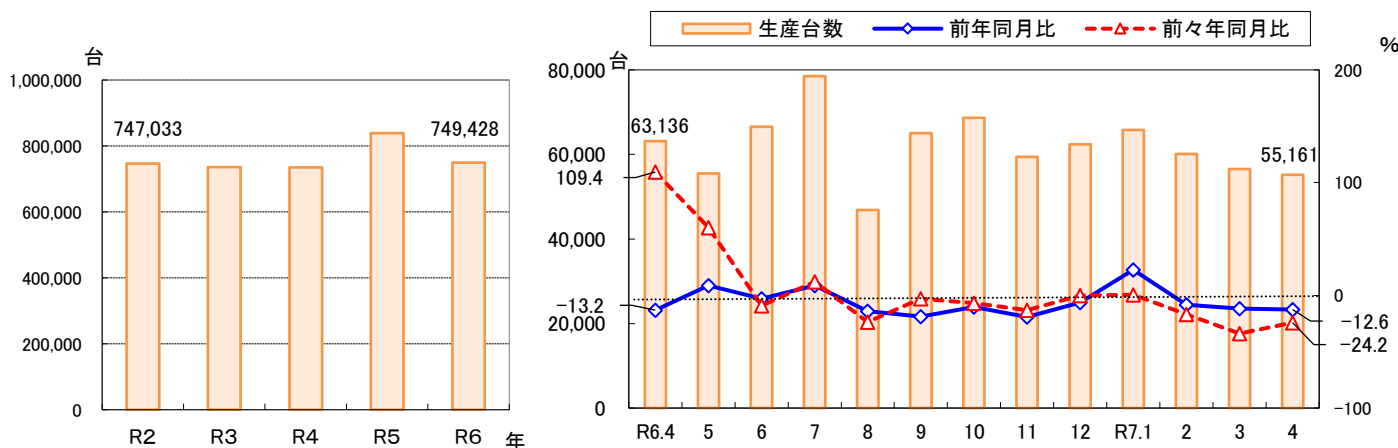


(2) 自動車（令和7年4月）

4月の国内生産台数は55,161台で、前年同月比で12.6%減少、前々年同月比で24.2%減少となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ（株）】

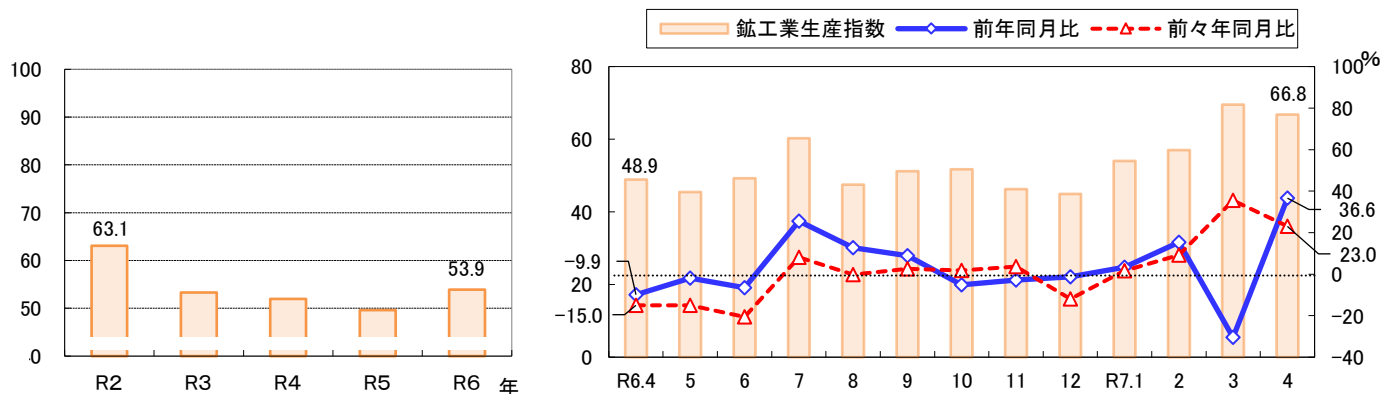


(3) 造船（令和7年4月）

4月の鉱工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、平成27年＝100）は66.8で、前年同月比で36.6%増加、前々年同月比で23.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

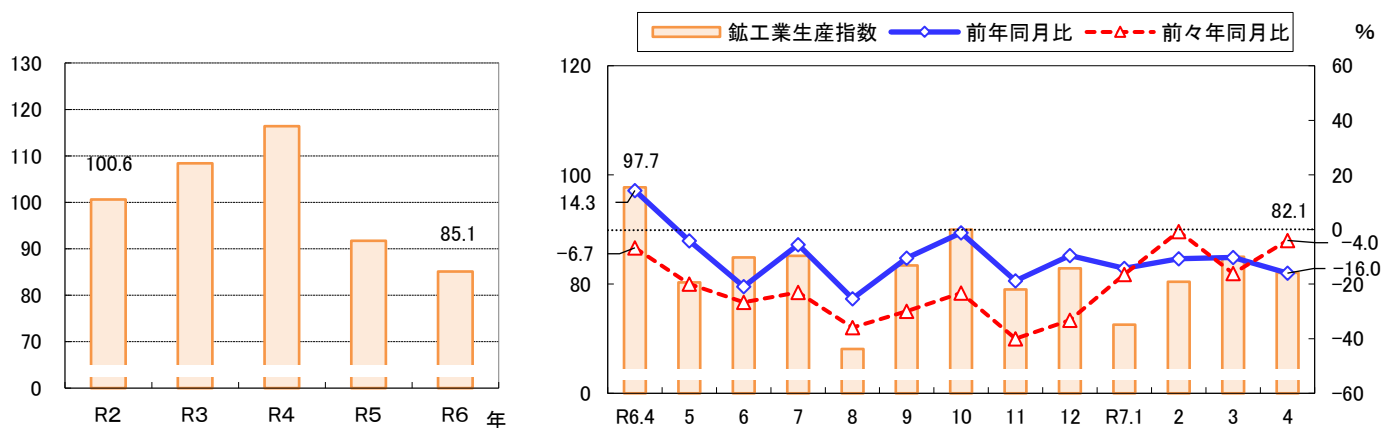


(4) 一般機械 (令和7年4月)

4月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は82.1で、前年同月比で16.0%減少、前々年同月比で4.0%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

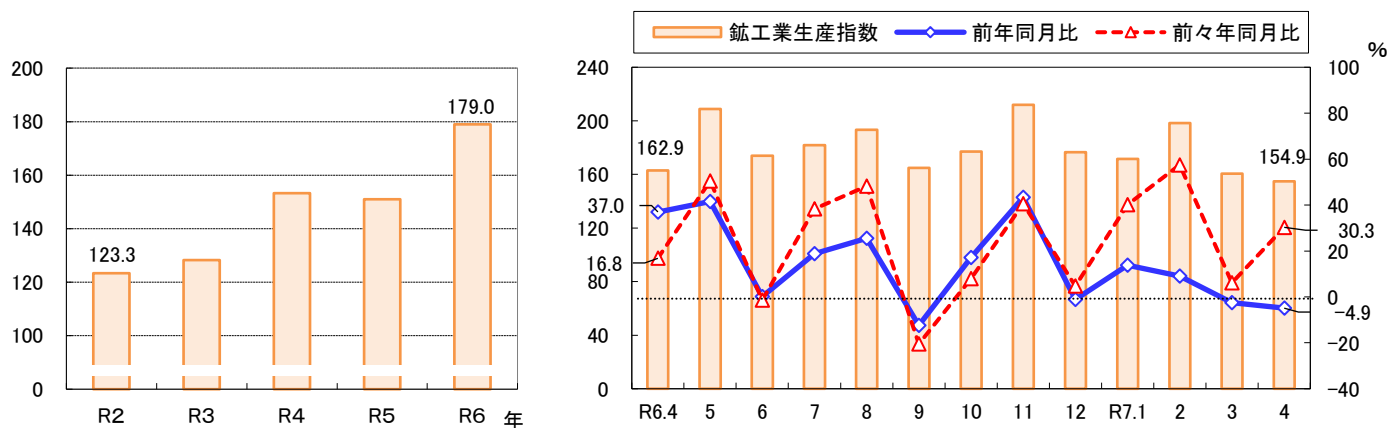


(5) 電気機械 (令和7年4月)

4月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は154.9で、前年同月比で4.9%減少、前々年同月比で30.3%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

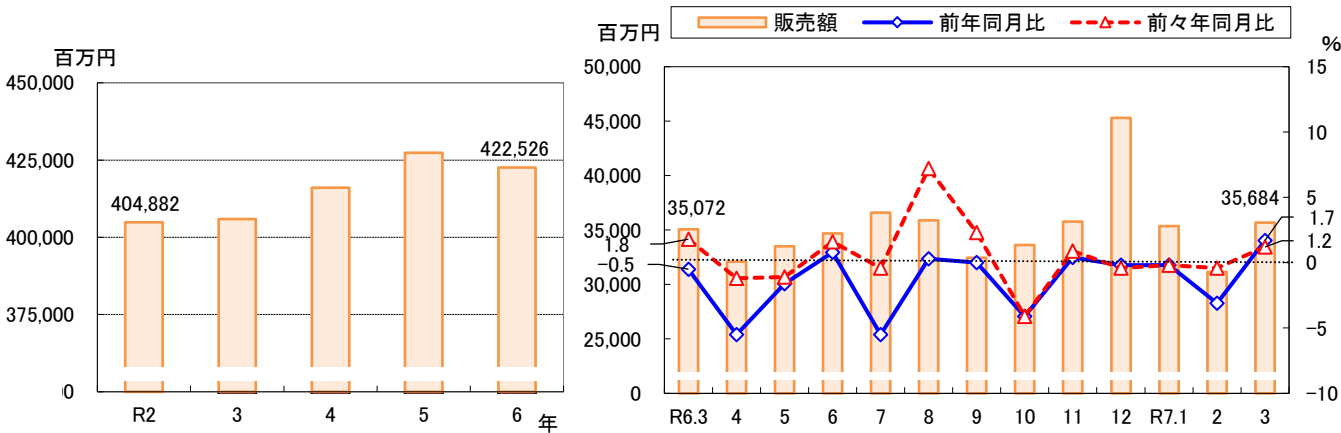


3 県内小売業等の動向

(1) 百貨店・スーパー（令和7年3月）

3月の販売額は、35,684百万円（速報値）で全店舗前年同月比で1.7%増加、前々年同月比で1.2%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向（広島県）（年別・月別・前年同月比・前々年同月比） 【中国経済産業局】

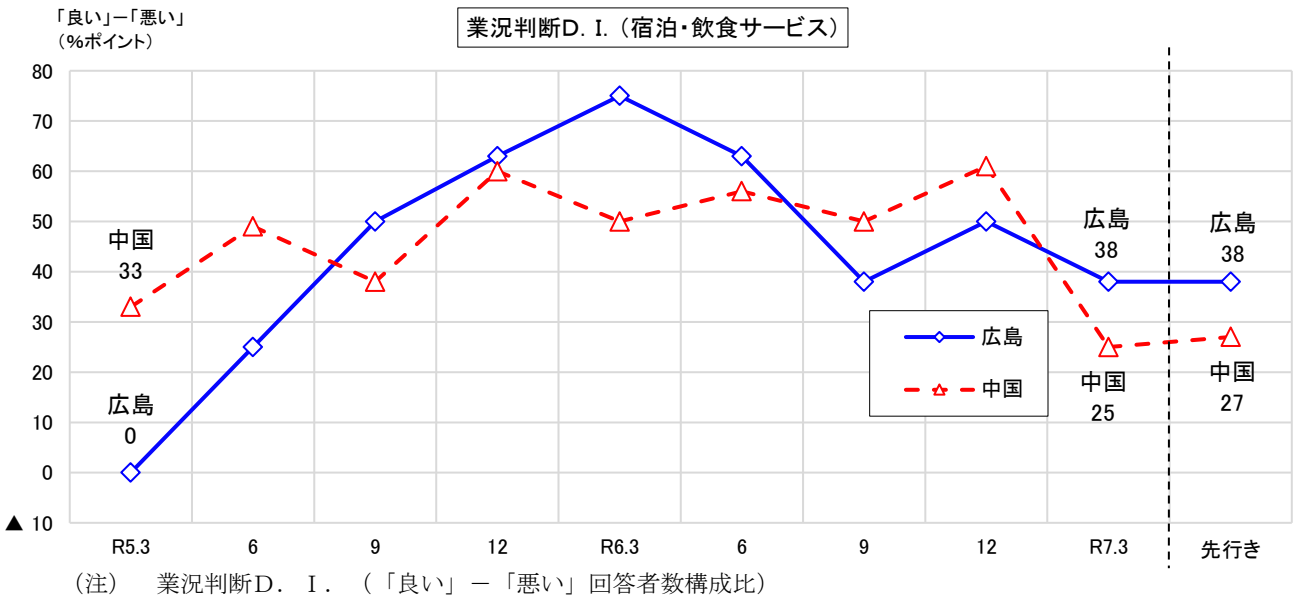


(2) 宿泊・飲食サービス（令和7年3月）

3月の業種別業況判断D. I.（宿泊・飲食サービス）は、38%ポイントと前回調査時より12%ポイント悪化している。

調査月	令和6年9月	令和6年12月	令和7年3月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	38 (▲ 25)	50 (+12)	38 (▲ 12)	38 (± 0)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」（令和7年4月1日公表）】



(3) 観光

ア 宿泊者数（令和7年3月）

直近の数値である令和7年3月の宿泊者数は99.3万人泊で、前年同月と比べ10.1万人泊減（▲9%）、コロナ前の令和元年同月と比べて2.5万人泊減（▲3%）となった。外国人宿泊者数は、令和7年3月は18.5万人泊で、令和元年同月と比べて6.9万人泊増（+59%）となった。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

（単位：万人泊）

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～3月計
広島県	R 7年宿泊者数	70.8	73.2	99.3	発表前									243.4
	R 6年宿泊者数	74.6	80.6	109.4	100.5	111.6	92.5	96.3	116.8	105.7	118.2	116.4	94.2	264.6
	R 6年比	95%	91%	91%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92%
	R 元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	253.4
	R 元年比	95%	95%	97%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96%
全国	R 7年宿泊者数	4,888	4,793	5,551	発表前									15,232
	R 6年比	107%	100%	101%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	102%
うち外国人	R 7年外国人宿泊者数	9.3	8.4	18.5	発表前									36.2
	R 元年外国人宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	24.8
	R 元年比	133%	134%	159%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	146%
	R 7年外国人宿泊者数	1,515	1,376	1,482	発表前									4,372
	R 元年比	165%	148%	156%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R6、R7年は宿泊旅行統計調査の速報値で、R元年は、確定値を反映。

R6、R7年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

イ 県内主要観光施設の観光客数（令和7年2月～4月）

2月～4月は、2月に大和ミュージアムがリニューアルに伴う長期休館に入った影響が大きく、県内主要観光施設の観光客数の合計は前年よりも減少した。一方で、3月末～4月初旬の桜が咲く時期には、前年よりも観光客が増加した観光施設も見受けられた。

【各観光施設からの開取調査】

（単位：人）

観光施設		R 元年			R 6 年			R 7 年		
		2 月	3 月	4 月	2 月	3 月	4 月	2 月	3 月	4 月
広島平和記念資料館		61,240	128,610	180,830	88,504	199,981	205,930	96,824	213,394	247,043
	R 元年比	—	—	—	145%	155%	114%	158%	166%	137%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	109%	107%	120%
宮島来島者数		263,324	420,780	491,455	315,713	462,010	430,836	285,525	484,233	463,771
	R 元年比	—	—	—	120%	110%	88%	108%	115%	94%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	90%	105%	108%
大和ミュージアム		50,317	77,507	80,697	64,174	73,896	58,973	33,814	23,431	17,657
	※R7.2～大和ミュージアムサテライト	—	—	—	128%	95%	73%	67%	30%	22%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	53%	32%	30%
道の駅たけはら		12,168	16,228	16,583	9,375	11,066	10,552	9,460	11,069	11,199
	R 元年比	—	—	—	77%	68%	64%	78%	68%	68%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	101%	100%	106%
神楽門前湯治村（定期公演）		1,257	1,662	2,682	2,115	2,105	1,838	1,362	1,878	2,652
	R 元年比	—	—	—	168%	127%	69%	108%	113%	99%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	64%	89%	144%
千光寺ロープウェイ		26,607	51,124	65,850	33,381	44,559	58,009	35,395	59,178	64,486
	R 元年比	—	—	—	125%	87%	88%	133%	116%	98%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	106%	133%	111%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		2,238	3,606	1,450	1,534	2,877	983	1,622	3,053	1,164
	R 元年比	—	—	—	69%	80%	68%	72%	85%	80%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	106%	106%	118%
国営備北丘陵公園（千人）		8	19	46	11	19	41	7	19	36
	R 元年比	—	—	—	132%	99%	90%	86%	99%	80%
	R 6 年比	—	—	—	—	—	—	65%	100%	89%

4 中小企業の動向（令和7年5月）

【広島県中小企業団体中央会（令和7年6月13日時点）】

(1) 概況

県内中小企業の多くは、仕入価格等のコスト上昇に係る価格転嫁が進まないことや物価高による消費低迷等が続き、企業収益が圧迫されるなど、依然として厳しい状況にある。また、自動車業界に関連する中小企業では、米国の関税措置に伴う影響が出はじめている様子がうかがえる。こうした様々なマイナス要因が重なり、先行きに対する不透明感も高まっている。

自動車関連業種では、4月の国内自動車販売台数は前年同月比+10.5%と4か月連続増加。マツダ車は+5.8%と5か月連続増加した。

また、木材業界では、4月の全国新設住宅着工戸数は56,188戸で前年同月比▲26.6%。県内の4月の着工戸数は1,810戸で、前年同月比+16.2%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「4月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の4月分のデータに基づく

(2) 景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	普通
木材	普通	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	やや好況
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼（铸件）	やや悪い	やや悪い
金属製品	普通	やや悪い

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	やや悪い	やや悪い
自動車部品	やや悪い	悪い
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	普通	普通
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	4月	5月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	8	4	▲ 4
やや悪い	11	13	2
悪い	1	2	1

（３）前月（４月）から変化のあった主な業種

業種	４月の 景況感	５月の 景況感	変化の理由・状況
一般機械器具	普通	やや悪い	売上は前月比▲１０％、前年同月比＋２％となった。 【広島県東部機械金属工業協同組合】

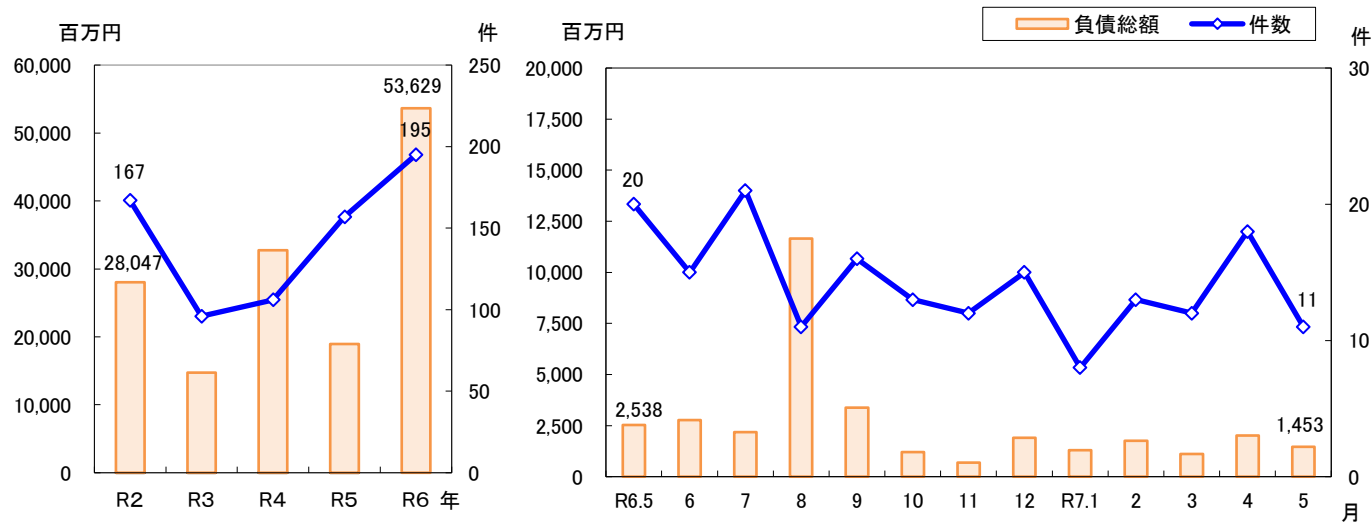
5 企業倒産状況（令和7年5月）

(1) 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が11件、総額14億5,300万円であった。
- ・前月比で件数は7件減少し、負債総額も5億5,200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は9件減少し、負債総額も10億8,500万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和7年3月	令和7年4月	令和7年5月
件 数 (前年同月比)	12件 (42.9%減)	18件 (12.5%増)	11件 (45.0%減)
負債総額 (前年同月比)	1,115百万円 (94.7%減)	2,005百万円 (12.9%増)	1,453百万円 (42.8%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



(2) 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、建設業が3件、運輸・通信業が2件、製造業とその他の各1件となった。
負債総額は、卸・小売・飲食業、運輸・通信業、製造業、建設業、その他の順となった。

(3) 原因別

原因別では、販売不振が7件、既往のシワ寄せが3件、運転資金の欠乏が1件であった。

(4) 今後の見通し

令和7年5月度の倒産件数は11件で、5月度としては令和6年より2年連続で10件を上回った。負債総額は14億5,300万円で、2年連続で10億円を超えた。前年同月比では倒産件数、負債総額ともに減少する結果となった。業歴別倒産状況では、30年以上が3件、20年以上30年未満が2件、10年以上20年未満が2件と業歴10年以上の倒産が全体の63.6%を占め、前月4月度では業歴10年以上の倒産が全体の77.7%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が7件で最多となり、既往のシワ寄せは3件、売掛金等回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は10件で全体の90.9%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は5月度11件中1件発生し、これまでの累計は296件（負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む）となっている。

5月度倒産の推移として、令和4年5月は9件、令和5年5月度は7件、令和6年5月は20件と新型コロナウイルスへの支援策が積極的であった令和4年、令和5年は倒産が抑制されていたが、令和6年に反動が生じて件数が増加、令和7年に於いても10件を超える結果となっている。コロナ禍の落ち着いたが進むなか、円安や供給難を背景とした原材料高騰や2024年問題による運搬コスト、人手不足を背景とした労務費の上昇などコスト負担は避けられない状況にある。

倒産の内訳として、令和7年4月度と同様に建設業の倒産が増加しており、働き方改革や原材料供給の長期化などによって施工期間が長期化する先が散見され、完工まで日数がかかることで売上高を確保できない先も出てきている。また、職人不足による労務費負担や原材料高騰も続き、コスト負担を吸収できず資金繰りが悪化した企業が増えている。また、自動車産業が盛んな広島県に於いて、トランプ関税による影響は避けられず、今後、業績悪化につながる懸念がある。製造業に於いては、定期的な設備投資やサプライチェーン確保、商品開発など課題は多く、経営資源の最大限の効率化を図らなければ生き残りはできないものと見られる。

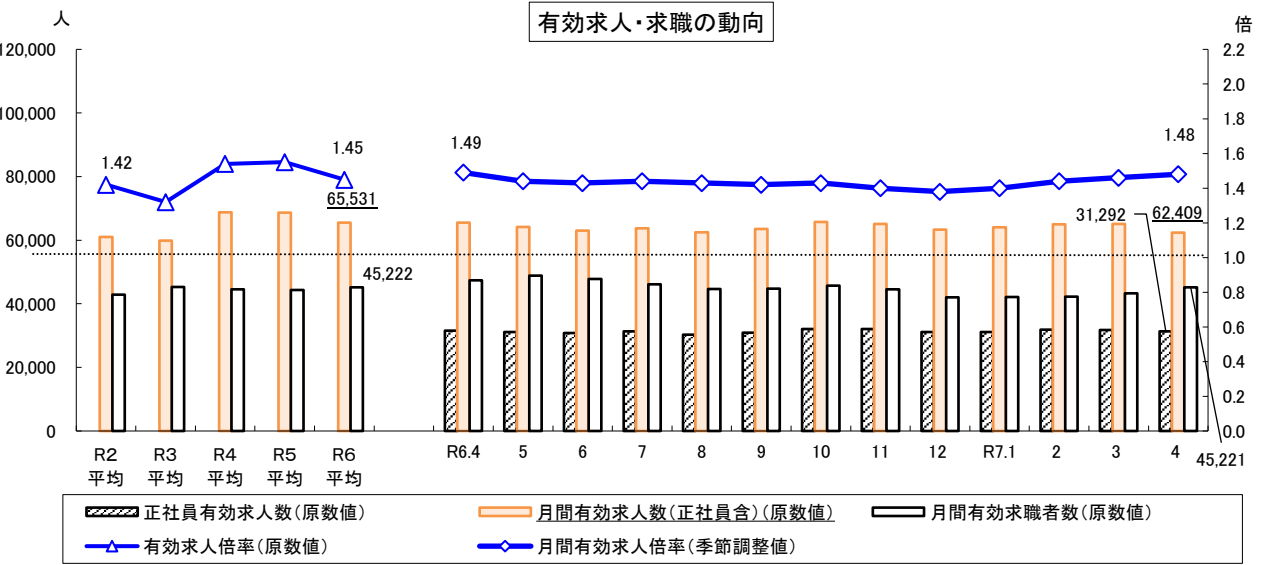
新型コロナウイルス、円安、物価高騰、トランプ関税と先行きに楽観視はできないなかで、企業はより柔軟でスピード感のある対応が急務と言える。

6 最近の雇用失業情勢（令和7年4月）

(1) 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和7年2月	令和7年3月	令和7年4月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.44倍 (+0.04ポイント)	1.46倍 (+0.02ポイント)	1.48倍 (+0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.31倍 (+0.02ポイント)	1.27倍 (+0.03ポイント)	1.23倍 (+0.08ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

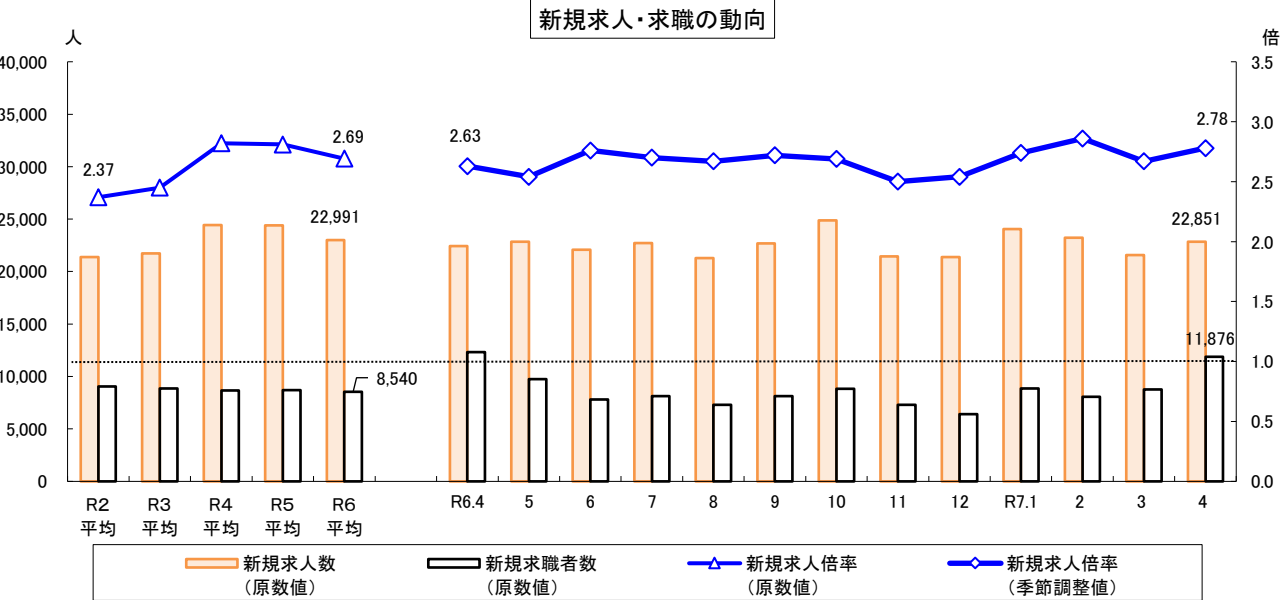
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(2) 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和7年2月	令和7年3月	令和7年4月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.86倍 (+0.12ポイント)	2.67倍 (▲ 0.19ポイント)	2.78倍 (+0.11ポイント)

【広島労働局】

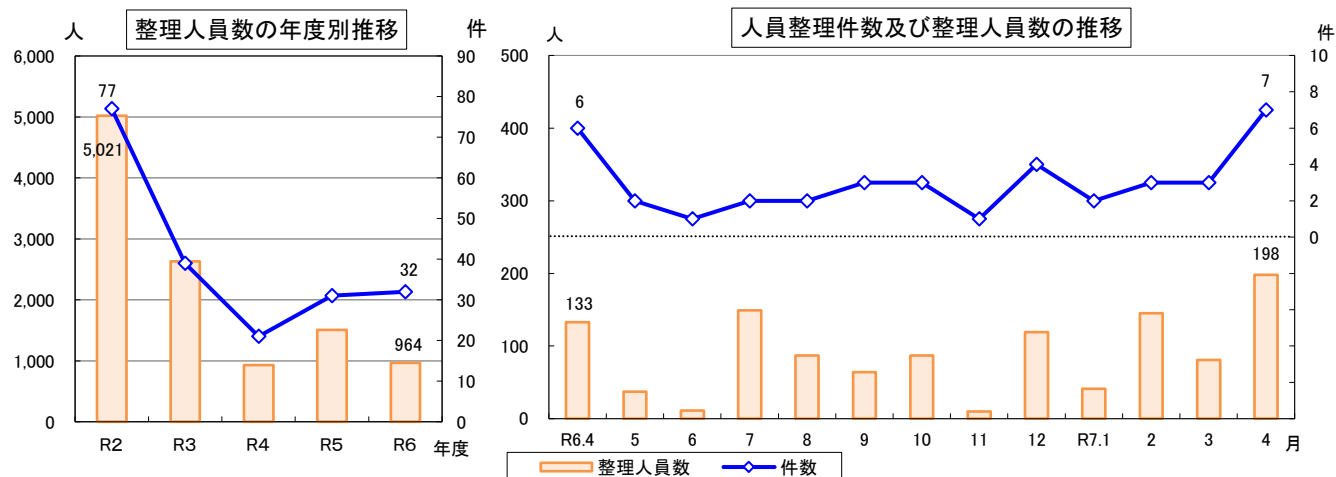


(注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和7年2月	令和7年3月	令和7年4月
件数 (前年同月比)	3件 (+ 2件)	3件 (▲ 1件)	7件 (+ 1件)
整理人員 (前年同月比)	145人 (+ 133人)	81人 (▲ 77人)	198人 (+ 65人)

【広島労働局】

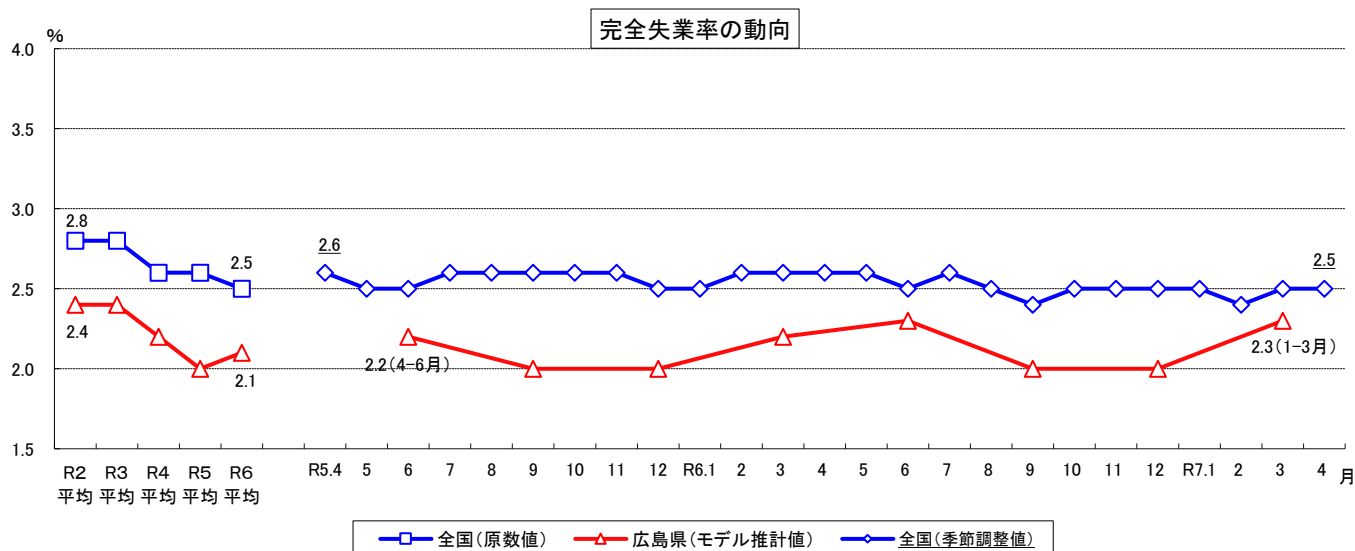


(4) 完全失業率の状況（全国・県内）

区 分	令和7年2月	令和7年3月	令和7年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	165万人 (▲ 12万人)	180万人 (▲ 5万人)	188万人 (▲ 5万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.4% (▲ 0.1ポイント)	2.5% (+ 0.1ポイント)	2.5% (± 0.0ポイント)

区 分	令和6年		令和7年
	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
広島県完全失業率 〈モデル推計値〉 (前年同期比)	2.0% (± 0.0ポイント)	2.0% (± 0.0ポイント)	2.3% (+ 0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去に遡って一部改定している。